

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY



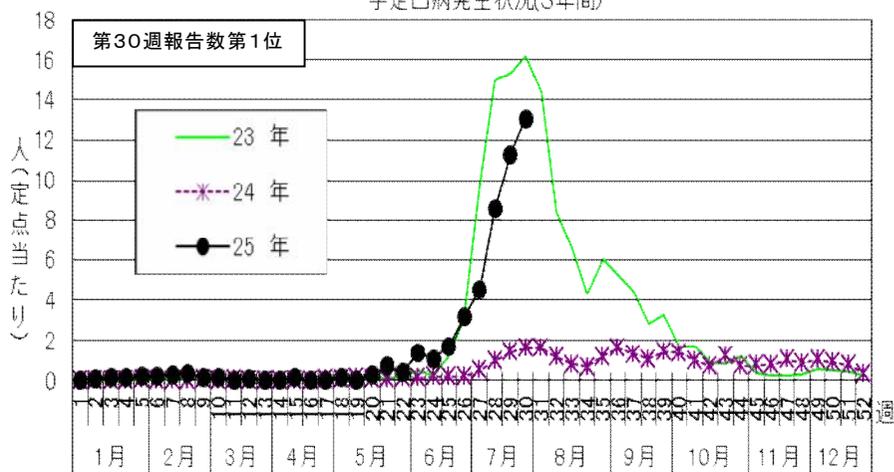
平成25年7月22日（月）～7月28日（日）〔平成25年第30週〕の感染症発生状況

第30週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)ヘルパンギーナ 3)感染性胃腸炎 でした。

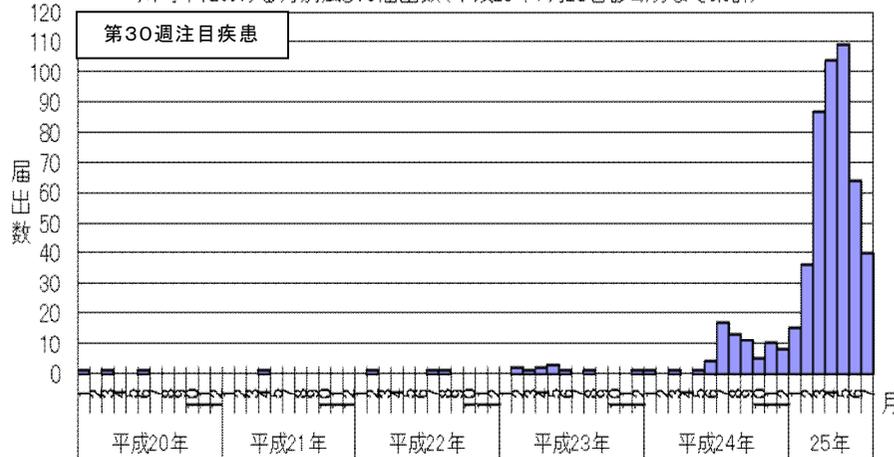
手足口病は定点当たり13.09人と前週（11.27）より患者報告数はさらに増加し、流行発生警報基準値（定点当たり5人）を超え、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

腸管出血性大腸菌感染症の届出が5件（O157：3件、O111：2件）ありました。全国的にも、5月下旬以降届出数は増加傾向にあるため、引き続き発生動向に注意が必要です。

手足口病発生状況(3年間)



川崎市における月別風しん届出数(平成25年7月28日診断分まで集計)



腸管出血性大腸菌感染症に御用心！！

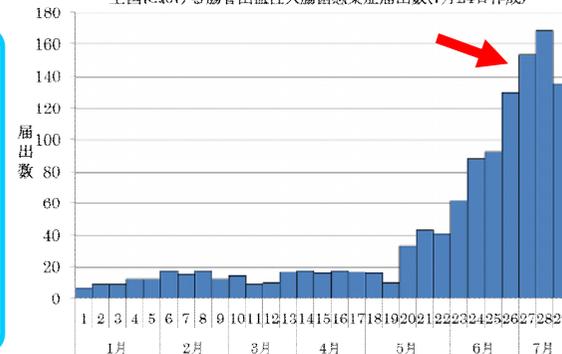
全国的に、腸管出血性大腸菌感染症の届出数が急増しています。夏場は、気温や湿度が高く、腸管出血性大腸菌（O157など）の増殖が盛んになるため、特に注意が必要です。

肉以外からO157!?

従来の腸管出血性大腸菌感染症は、生肉や加熱不足の焼肉を食べることで感染するケースが多くみられました。

ところが最近では、焼肉などを食べていない方でも発症する事例も多くみられています。

全国における腸管出血性大腸菌感染症届出数(7月24日作成)



適切な手洗いと食品の十分な洗浄・加熱を心がけてください！！

大腸菌などの細菌は目に見えないため、どこに付着しているかわかりません。生肉だけでなく、野菜などに付着し、調理器具等を汚染することもあります。細菌による感染を予防するために、日頃から手洗いを徹底し、食品の十分な洗浄・加熱を心がけましょう。